

沖水中学校 便り

令和5年 3月
13日、卒業式の予行練習を
行いました。



教育目標 『自他共栄』

感謝の心と自他を大切にすることをもち、

たくましく生きる生徒の育成

○Tel 38-1335 FAX 38-6760

○https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4307/



令和4年度の沖水中学校 学校評価

いよいよ明日は第76回卒業式を迎えます。1、2年生も来週には修了式を控え、令和4年度もラストスパートに入りました。今年度もコロナ禍にあり、様々な制限を受けながらの学校生活でしたが、そのような中でも生徒たちは、学習や部活動、学校行事に一生懸命取り組み、成長しています。

保護者の皆様におかれましては、年末にご依頼しました学校評価に関するアンケートへご協力いただき誠にありがとうございました。本年度の学校評価（5つの重点項目）の結果は、下の表のとおりでした。自己評価は、生徒及び保護者、教師のアンケートを総括したもの、評価委員とは、学校運営協議会の皆様による評価です。今年度、自己評価が一番低かったものは『計画的に、進んで勉強できていますか。』ですが、これは、生徒、保護者、教師のいずれの自己評価の中でも一番低く、共通した課題と感じていることがわかりました。評価委員の評価が分かれたのは『自分からしっかりあいさつができますか。そして、いつも丁寧な言葉で話していますか』です。あいさつをする生徒としない生徒がいるように感じる、という意見が多くきかれましたので、元気な挨拶ができる沖水中をめざして、皆で改善できるよう心がけていきたいと思えます。学校評価の詳細は、本校のホームページに掲載していきますので、ご覧ください。

なお、全般的な評価は、3.0ポイントから3.4ポイントとなっており、いずれの重点項目についても、ほぼ期待どおりの3前後という結果でした。次年度の学校経営の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

学校経営の重点項目（具体的な内容）	自己評価	評価委員
学校教育全体（学校では有意義に過ごせているか、先生たちは学校のことやみんなの勉強のことに一生懸命取り組んでいると思うか等）	3.4	3.4
知・学力	3.0	3.3
徳・豊かな心	3.5	3.0
健康・安全・体力向上（衛生面や健康管理、安全などについて等）	3.4	3.0
連携・その他（衛生面や健康管理、安全などについて等）	3.2	3.2

評価は、4段階（4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する）

沖水中学校同窓会入会式



15日（水）の午前中に沖水中学校同窓会の入会式を行いました。沖水中学校同窓会は、沖水中学校の卒業生を中心とした会で、令和4年度の卒業生を加えると13,000人近い会員数をほこります。

今年は8名の役員の方にも出席していただきました。式では、同窓会会長の坂田洋一郎さん（第21回卒）のお話、校長先生のお話の後、卒業生を代表として3組の蓮子蒼大さんが決意発表を行いました。明日卒業をむかえる124名の皆さんは、沖水中の卒業生としての自覚を持ち、4月からの新しい生活をスタートしてほしいと思えます。

宮崎日日新聞社「窓」面に 内村翔先生の投稿が掲載されました

もがき続けた
先の合格願う
中学校教諭
内村 翔

少しずつ子供たちの顔つきが変わり、シーンとした空間の中で、シャーツシャーツと鉛筆を走らせる音が聞こえてくる。今年も県立高校一般入試のシーズンがやってきた。

寒暖の差が激しく、体調を崩す生徒が多いか、毎朝の健康観察はいつも以上に神経を使う。それに加え、新型コロナウイルスにインフルエンザの流行。対応に追われる毎日である。生徒も、検温や消毒を3年間毎日続けてきた。

「受験」と聞くと、それぞれがおののストロリをもっていることだろう。われわれ教師も同じであり、いつかのあの頃、受験生であった。3年間マスクを着けたままの学校生活。「GIGAスクール構想」を目指し、1人1台のタブレットが導入され、リモートの集会やリモート授業。同じ受験とほいもの、そこにたどりつくまでの劇的な変化に驚いている。



宮崎日日新聞 令和四年三月十日